西淀川区 防災マップ

BOUSAI MAP FOR NISHIYODOGAWA-KU

津波到達時間 116分

3階以上に避難

発行：西淀川区役所　令和8年4月

いざというときの連絡先

西淀川区役所（防災担当）	TEL. 6478-9895
犯罪・事故（西淀川警察署）	TEL. 110
火事・救急（西淀川消防署）	TEL. 119
水漏れ（水道局お客様センター）	TEL. 6458-1132
ガス漏れ（大阪ガス）	TEL. 0120-0-19424
電気の事故（関西電力）	TEL. 0800-777-3081
ごみ（環境局西北環境事業センター）	TEL. 6477-1621
道路・橋（建設局十三工営所）	TEL. 6306-1881
下水（海老江管路管理センター）	TEL. 6462-3919
NTT災害用伝言ダイヤル※	TEL. 171
NTT災害用ブロードバンド伝言板（web171）※	https://www.web171.jp

※大規模災害時に開設されます。

わが家の防災メモ

集合場所	
津波避難場所（津波避難ビル）	
災害時避難場所（親戚・知人宅）	

地震・津波から身を守る

事前の対策

- 家具を固定し転倒防止しましょう。
- 家具の上に物を載せるのは避けましょう。
- ベッド、ふとんに倒れ掛かる位置に家具や本棚はありませんか？
- 寝室に靴を用意しておきましょう。

直前の対策

地震は急に発生します。上記の事前の対策や、備蓄品・持出品を普段からチェックしておくようにしてください。

災害が発生したら

実際に大きな地震が発生した時に、冷静に行動することはとても難しいです。しかし、一瞬の判断で生死を分けることもあります。地震が起こっても慌てず、落ち着いて行動するために、次の行動パターンを覚えておきましょう。

揺れが収まったら（1～2分）
- ドアや窓を開け、逃げ道を確保
- 家族の安全確認
- 足を守るため靴を履く
- 非常持ち出し袋を用意

3分
- 出火防止、初期消火
  出火していたら大声で周りに知らせる。
- 隣近所の安全を確認
  特に一人暮らし高齢者などには、積極的に声がけを。

5分
- ラジオ、スマホで情報収集
- 家屋の倒壊などの危険性がある場合は避難
  家が倒壊の可能性もなく、津波が来ても大丈夫な場合は家にいましょう。

5～10分
- 出火防止のためにブレーカーを切る
- 電話での通話は控える
  災害用電令板・伝言ダイヤルを利用しましょう。

10分～数時間
- 消火、救出活動
  周りと協力し、消火や救出・救護を行う。
- 津波避難する
  周りが避難している場合や津波警報などが発表されている場合には避難してください。

～3日くらい
- 余震に警戒する
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家、倒壊の可能性がある建物には入らない。

避難生活へ

災害の知識

西淀川区 南海トラフ巨大地震 西淀川区被害予想（平成25年）

基礎データ		建物被害			人的被害（死者）			
建物棟数（棟）	人口（人）	全壊棟数（棟）	半壊棟数（棟）	全半壊棟数（棟）	揺れ・火災	津波	堤防決壊に伴う浸水	合計
21,431	97,504	10,519	20,121	30,640	4	6,746	12,978	19,728
早期避難を行った場合					4	0	5,665	5,669
平成30年防潮堤の耐震化工事の完了により					堤防決壊による浸水なし（想定）			

ソフト対策

ハード対策

人的被害の上段は早期避難率が低い場合、下段は高い場合の想定です。早期の避難を心がければ、被害は減らすことができます。また、堤防決壊の対策として、西淀川筋の防潮堤耐震化工事が平成30年に完了しています。しかし、災害は想定を超えて発生する場合もありますので、その心構えをしておくことが重要です。

大雨・洪水に備える

事前の対策

- ハザードマップで浸水想定を確認しましょう。
- 大雨の長期予報等にも注意しましょう。

直前の対策

- 側溝・排水溝・雨どいなどを掃除して水はけを良くしておきましょう。
- 大雨の予報があり、浸水が心配される場合は土のうを準備しましょう（ホームセンター等で入手可能）。

災害が発生したら

1. **浸水が起こる前に、避難しましょう**
   浸水などの危険を感じたら、警戒レベル3高齢者等避難・警戒レベル4避難指示などを市が発表していなくても早めに避難しましょう。

2. **基本的に車での避難はやめましょう**
   もし、どうしても車で避難しなければならない場合であれば、アンダーパスは冠水している可能性があるので、近づかないようにしましょう。

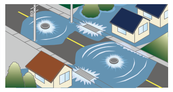
3. **河川に近づかない**
   大雨で増水している河川はとても危険なので、絶対に近づかないでください。

災害の知識

● 大雨による被害

長時間雨が激しく降ると、川の水が堤防から溢れる「河川氾濫」と降った雨を下水道が流しきれずに溢れてしまう「内水氾濫」が起きる可能性があります。

河川氾濫



内水氾濫

● 雨の強さと被害

天気予報で耳にする「強い雨」や「猛烈な雨」はどのような状態を示すのでしょうか。一度確認してみましょう。

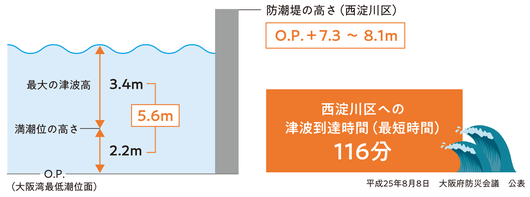
1時間雨量(mm)	予報用語	想定される被害
10以上～20未満	やや強い雨	長く続くときは注意が必要
20以上～30未満	強い雨	側溝などから水があふれることがある
30以上～50未満	激しい雨	マンホールから水があふれることがある
50以上～80未満	非常に激しい雨	地下街に雨水が流れ込むことがある
80以上～	猛烈な雨	大規模な災害が発生する恐れが強い

災害時の避難行動等の流れ

災害種別		避難行動		避難生活
地震	危険から逃れる	● 一時避難場所へ避難 ● 自宅内で安全確保	自宅で過ごせる場合は	原則 自宅避難
津波	危険から逃れる	● 浸水想定区域外の広域避難場所、一時避難場所へ避難 ● 津波・水害時避難ビルへ避難 ● 自宅内で安全確保（マンションの3階以上など）	自宅で過ごせない場合は	事前に連絡しておいた安全な友人・親戚宅へ避難
大規模火災	危険から逃れる	● 広域避難場所へ避難	自宅・友人・親戚宅で過ごせない場合は	避難所へ避難 避難リュックを忘れずに！
洪水	危険から逃れる	● 津波・水害時避難ビルへ避難 ● 自宅内で安全確保（洪水が及ばない高い場所）		

津波の想定（海岸付近の最大値）

南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.1）が発生した場合の海岸線から沖合約30m地点における津波水位



平成25年8月8日　大阪府防災会議　公表

O.P.（大阪湾最低潮位面）…大阪湾と淀川の高さの基準とするために、干潮時（最低潮位）を原点として定められたもの。全国の標高の基準となる海水面の高さ（T.P.：東京湾平均海面）より1.3m低い。

台風・高潮から身を守る

事前の対策

- 台風の予測は精度が上がってきているので、事前に台風進路予測をこまめにチェックしておきましょう（避難が必要になる台風が来る場合は、繰返し報道されることが予想されます）。
- 避難が必要になりそうならば、避難所以外にも知人・友人宅等に避難できないか、相談しましょう。

直前の対策

- 窓は必要に応じて飛散防止フィルムやダンボールとテープを張るなどして、補強しましょう。
- 側溝・排水溝・雨どいなどを掃除して水はけを良くしておきましょう。

災害が発生したら

1. **必要な場合は、強風がふきはじめる前に避難を完了しましょう**
   なお、強風では避難情報（警戒レベル）が出ることはありません（避難情報（警戒レベル）は大雨により河川の水位が上昇した場合に発令されます）。強風での被害が予想される場合、「災害モード宣言」が発出されるので、注意してください。

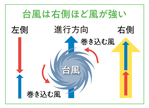
2. **不要不急の外出は避けましょう**
   風が強いとあらゆるものが飛んできたり、木や電柱が倒れてきたりすることもあります。暴風警報以上が発表されている場合は危険ですので、外出は避けましょう。

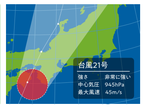
災害の知識

● 台風について

台風は、進行方向の左側よりも右側の方が風が強くなります。その理由は、台風へ巻き込む風と台風を移動させる周りの風が、同じ方向に吹くからです。大阪府にも大きな被害を与えた2018年の台風21号の進路を見てみると、台風の右側部分が大阪府を通過しています。

台風は右側ほど風が強い





● 高潮の原理

台風が接近して気圧が低くなると海面が持ち上がったり（吸い上げ効果）、強風により海水が陸地に運ばれたりする（吹き寄せ効果）ことで、潮位が大きく上昇することを「高潮」といいます。満潮時に高潮が発生すると、潮位がさらに上昇し、被害が大きくなります。

● 台風・高潮の歴史

西淀川区では、20世紀に三度、強力な台風による大きな被害を受けています。2018年に起こった台風21号は、室戸台風よりも強力なものでしたが、防潮堤の整備が進んだおかげで高潮による浸水は発生しませんでした。しかし、今後さらに強力な台風により浸水が起こる可能性がないわけではありません。

1934年 室戸台風	高潮が発生し、区内全域浸水。死者・行方不明者 243 名、家屋の流出・全半壊 516 戸
1950年 ジェーン台風	高潮が発生し、区内全域浸水。死者・行方不明者 58 名、家屋の流出・全半壊 8786 戸
1961年 第二室戸台風	神崎川が氾濫し、区内一部地域浸水。家屋の全半壊・流出 500 戸

非常持ち出し品を作ろう！

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。当面必要な物品をあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでも持ち出せるよう日ごろから準備しておきましょう。

飲食料品

- □長期保存可能な食品(レトルト)
- □飲水

衛生品

- □救急セット(常用薬など)
- □マスク
- □タオル
- □ウエットティッシュ
- □トイレットペーパー
- □消毒用アルコール
- □石鹸

情報収集用品

- □携帯ラジオ
- □筆記用具

便利品

- □体温計
- □レインコート
- □軍手・手袋
- □毛布(サバイバルブランケット)
- □レジャーシート
- □ポリ袋
- □布ガムテープ
- □使い捨てカイロ
- □懐中電灯(ランタン)
- □ライター（マッチ）
- □十徳ナイフ(サバイバルナイフ)
- □笛
- □モバイルバッテリー

個人ごとの事情により検討が必要な物の例

必需品・貴重品

- □健康保険証
- □運転免許証
- □預金通帳（写）
- □メガネ・コンタクト
- □車や家の予備鍵

赤ちゃん用品

- □粉ミルク
- □哺乳瓶
- □紙おむつ
- □ベビーカー
- □母子手帳
- □離乳食

高齢者用品

- □おむつ
- □看護用品
- □持病薬
- □着替え

リュックサックなど両手が動かせるものに必要なものを入れてみて、それを持って避難することができるか試してみてください。
また、持ち出し袋の中身は年に一度は点検するようにしましょう。

非常備蓄品

避難後に少し余裕が出てから安全を確認して自宅に戻った際に持ち出したり、自宅で避難生活を送る場合に備え、以下のような備蓄（食品等は一週間分程度）をしましょう。

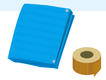
飲食料品

- □飲料水
- □アルファ化米
- □乾パン
- □パン缶
- □インスタントラーメン
- □缶詰類
- □レトルト食品

衣　類

- □上着
- □下着
- □靴下

その他



- □ブルーシート
- □ガムテープ（布製）

生活用品

- □タオル
- □バスタオル
- □毛布
- □雨具
- □予備電池
- □卓上コンロ
- □ガスボンベ
- □固形燃料
- □鍋
- □ラップ
- □アルミホイル
- □やかん
- □新聞紙
- □皿（紙・アルミなど）
- □コップ（紙など）
- □わりばし
- □スプーン
- □フォーク
- □歯ブラシ
- □石鹸

防災情報を収集しよう！

大阪防災アプリ

大阪市危機管理室が提供するスマートフォン用アプリです。避難の判断に役立つ情報などが入手できます。

マップナビおおさか

大阪市が提供する地図・地域情報の公開・提供サイトです。地図と防災情報を重ねて表示することができます。

西淀川区X(旧Twitter)

西淀川区の情報発信用アカウントです。防災情報もつぶやいています。

おおさか防災ネット

幅広い防災情報を提供するポータルサイトです。

西淀川区LINE

西淀川区からの行政情報が配信されます。ぜひご登録ください。